



同窓会だより

校訓
けいしん あいち
敬心 愛知
けんし りょっこう
堅志 力行

会長挨拶

『アーカイブ』

同窓会会長 戸野 法史(23回生)

令和6年度総会・懇親会に多数の同窓生の皆さまにご出席いただき、盛大に開催できますことを心から嬉しく思っています。

さて、創立100周年記念事業の一環として、2000点以上のコンテンツをデジタル



化したことはすでにご存じのことと思えますが、ここでその具体を紹介したいと思えます。

同窓会では、草創期の県女・市女・三原中学時代から創立記念事業までの100年間にわたって、多くの写真を収集し保管してきました。歴代の校舎や恩師の先生方の写真、クラブ活動や修学旅行・体育祭・文化祭などの写真は全てデジタル化しました。また、新たに発見された甲子園球場での実況放送の録音テープや、生徒会新聞・筆影などの文字原稿データもデジタル化しています。

最新のコンテンツは、セーラー服・学生服に加え、新たにブレザーバージョンが加えられた制服の写真です。

今回の『同窓会だより』では、それらの中のほんのわずかな写真を活用したにすぎません。今後は同窓生の皆さまからのリクエストに応じて、データを提供していきたいと考えています。また、お手持ちの写真や動画などがあれば提供していただき、同窓会の財産として、将来にわたって安全に利用できるようアーカイブします。そして、同窓会だより等を通じてそれらを同窓生のみならずと共有してまいりたいと思えます。

趣旨をご理解いただき、何とぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

校長挨拶

『新たなステージへ』

校長 大久保 信行

三原高等学校同窓会会員の皆様におかれましては、益々御清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素から本校の教育活動の推進のために多大な御支援・御協力を賜り、心より感謝申し上げます。



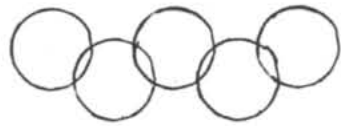
三原高校は、伝統を尊重しつつ時代の変化に対応するため、今年度、新たなステージに向けて大きな一歩を踏み出しました。それは、ブレザースタイルの制服の導入とタイ王国への海外修学旅行(令和7年1月)の実施です。

従来の学ランやセーラー服に加えブレザースタイルの制服を取り入れたことで、生徒たちがさらに多様な選択肢を持つことができるようになりました。多くの場合、伝統的な制服の形式は性別によって厳密に区別されますが、三原高校はその枠を超え、生徒たちのアイデンティティを尊重する環境を提供してまいります。生徒の個性を尊重しつつ校風を大切に、生徒たちが誇りをもって学び成長することを目指します。

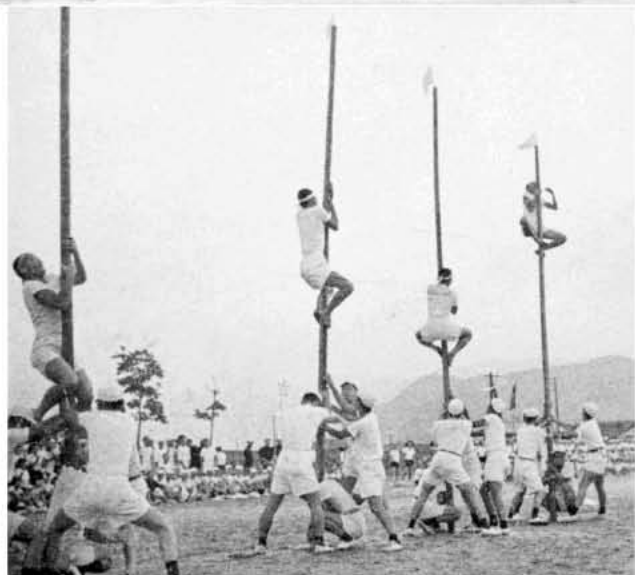
海外修学旅行は、生徒たちが世界の多様性や異文化を直接体験し、国際的な視野を広げる機会となります。これは、知識のみならず、自己成長と新たな価値観を獲得する重要な機会となるでしょう。

これらの取組は、三原高校の将来を見据えた決断であり、同窓会の皆様の御理解と御協力が欠かせません。私たち教職員は、これからも三原高校の一員として誇り高く歩んでいくとともに、伝統と革新を融合させながら三原高校を次世代へ引き継ぐ責任を全うしてまいります。引き続き御支援と御理解をお願い申し上げます。

三原高校 思い出の写真

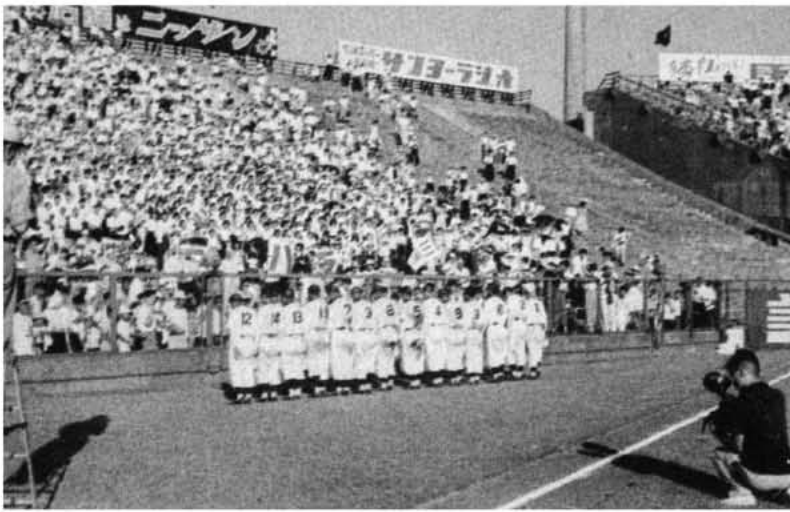


TOKYO 1964





昭和47年度全国高等学校総合体育大会
第17回 全国高等学校秋季大会
（広島県）



— 正 面 図 —



新しい制服の組み合わせです



来たれ!三原高校



[編集後記]

中学生の頃、同級生との帰り道で三原高校の女子生徒が自転車で通り過ぎたとき、その同級生が、「あれは俺の姉ちゃんだ。三原高校に通っているんだ。」と言いました。その時のお姉ちゃんの颯爽とした姿が忘れられません。三原高校との初めての接点であったように思います。

女子のセーラー服の三本交線のデザインは、第二代校長木村時太郎先生（S28～S33）の時代に決定されました。写真では8回生の方々から着用されているようです。それ以来、女子の制服は三原高校の象徴のような存在でした。木村校長先生は、三原高校のあと尾道北高校に着任され、そこでも女子の制服を同じデザインのものにされました。それくらい木村校長先生はこのデザインを気に入っておられたのだと思います。

それから70年の時を経て、新たにブレザータイプの制服が導入されました。新旧制服が共存・共生していくことになります。グローバルな流れの中で新たな時代の生徒たちを育てていくことでしょう。（副会長：三次至和：28回生）

編集・発行：広島県立三原高等学校同窓会
〒723-0016 広島県三原市宮沖4-11-1
TEL：0848-62-2151（三原高校内）